

イタリアの世界遺産（5）

シチリア島の世界遺産

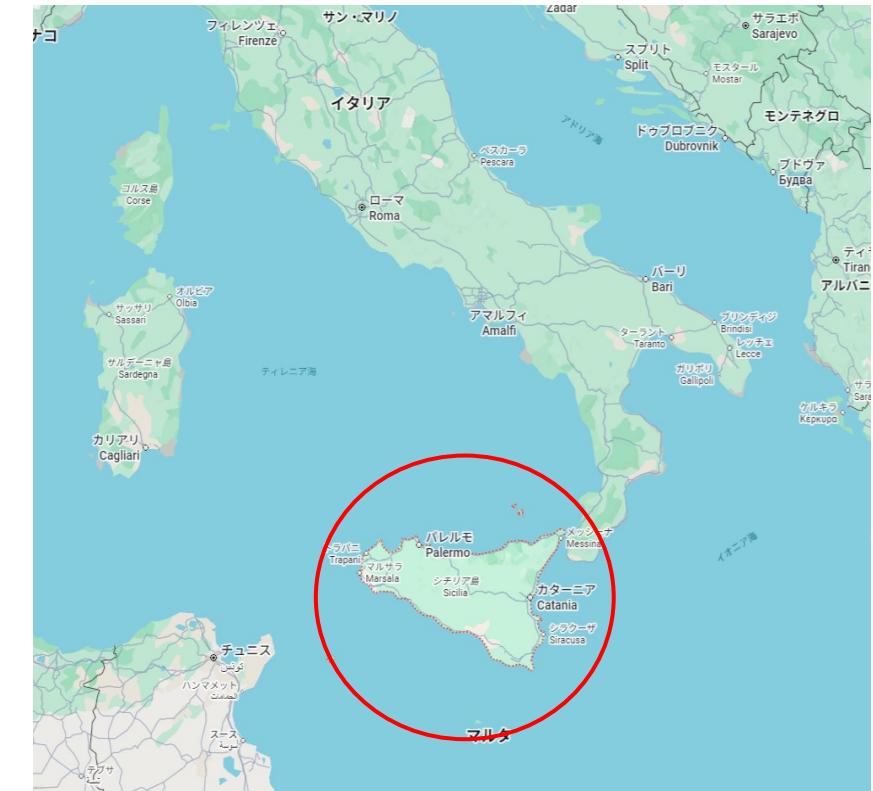
1. パレルモのアラブ・ノルマン様式の

建造物群

2. 欧州最大級の活火山 エトナ火山

3. ヴィッツラ・ロマーナ・デル・カ

サーレ



パレモ

1. この世界遺産の最大の特徴は、異なる文化が美しく溶け合っていることです。

イスラム文化（アラブ） 北欧系ノルマン人の文化 キリスト教文化（ビザンツ） これらが一つの建物の中で共存しています。

2. なぜ世界遺産として評価された？

宗教や民族の違いを超えた建築文化 中世地中海世界の交流を物語る証拠 高い芸術性と保存状態の良さつまり、「争いではなく共存が生んだ美」が評価されたのです。



パレルモのアラブ・ノルマン様式の建造物群

- スラム文化・キリスト教・ヨーロッパ文化が混ざり合った、世界でも珍しい建築様式です。
- 金色に輝くモザイクの大聖堂は圧巻です
- 観光
 - 市内観光が中心
 - 教会は椅子があり休みやすい
 - 公共交通で移動しやすい



457 ヴィットリオ・エマヌエーレ通り - Google マップ

パレルモ大聖堂



エトナ火山

- エトナ火山は、ヨーロッパ最大級の活火山で、今も噴火を続けています。
- 標高はおよそ 3,300メートル（噴火によって少しづつ変わります）。
 - 「活火山」と聞くと怖い印象がありますが、多くの場合は小規模で予測され、管理された噴火です。
- なぜ世界遺産になったの？
 - 2013年に自然遺産として登録されました。
 - 理由は——火山の成り立ちがよく分かる溶岩流や噴火の様子を長年観測できる



ヴィツツラ・ロマーナ・ デル・カサーレ

- 古代ローマ時代の大きな別荘（お屋敷）跡です。
- 最大の見どころは、床一面に残る色鮮やかなモザイク画です。
- 特に有名なのが👉 「ビキニ姿の女性たちのモザイク」 2000年近く前の作品とは思えないほど、生き生きしています。



古代ローマの邸宅ツアー - ポンペイのヴェッティ家の歴史 4K

16分



イタリアの世界遺産（5）

シチリア島の世界遺産

1. パレルモのアラブ・ノルマン様式の建造物群
2. 欧州最大級の活火山 エトナ火山
3. ヴィッツラ・ロマーナ・デル・カサーレ

終わり

松島 成美